

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
国語(書写を含む。) Japanese Language(including Calligraphy)		児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修	和田 征文	
概要				
1 小学校の教壇実践の対象となる教科「国語」の〔知識及び技能〕を整理・把握する。 2 学習指導要領・国語の「書写に関する事項」を基にしながら、書写指導の実際を学習する。 3 上代から近代に至るまでの「日本文学史」を、代表的な作品をたどりながら概観する。				
到達目標				
(1) 小学校国語教科書で記載されている国語的術語の説明ができる。 (2) 小学校で取り上げられている楷書・行書が硬筆・毛筆などの様々な道具で書写できる。 (3) 上代から近代までの文学史を時代背景と主たる作品で概観を語る事ができる。				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 「国語」の学習の意味と内容 2 国語科の目標 - 3つの内容と構成- 3 国語科の〔知識及び技能〕の概観 4 国語の音韻に関する事項 5 文字に関する事項 ①漢字と仮名 6 文字に関する事項 ②漢字の成り立ち 7 文字に関する事項 ③漢字の部首・熟語 8 表記に関する事項<仮名遣い> 9 文及び文章の構成に関する事項 10 言葉遣いに関する事項<敬語> 11 語句に関する事項 ①語彙の種類 12 語句に関する事項 ②語彙の学習 13 言葉の働きや特徴に関する事項 14 方言に関する学習 15 言語文化に関する事項		【後期】 1 「書写」学習の意義と内容 2 硬筆による書写(低学年) 3 フェルトペンによる書写(中学年) 4 毛筆による書写 ①楷書・漢字(中学年) 5 毛筆による書写 ②楷書・仮名(中学年) 6 毛筆による書写 ③漢字と仮名(高学年) 7 毛筆による書写 ④行書(高学年) 8 筆ペンによる書写 ①平仮名 9 筆ペンによる書写 ②日常の書式 10 筆ペンによる書写 ③連綿 11 「日本文学史」上代の文学 12 「日本文学史」中古の文学 13 「日本文学史」中世の文学 14 「日本文学史」近世の文学 15 「日本文学史」近代の文学		
テキストおよび 参考文献	演習用テキスト「国語(前期)」「国語(後期)」(和田征文編著) 文部科学省「小学校学習指導要領解説・国語編」 秋山 虔・三好 行雄「新日本文学史」文英堂 「国語便覧」浜島書店・教研出版・東京書籍			
メッセージ など	1 2年次生での学習の基になる授業・教員採用試験必出の授業 2 書写の実地指導・日本の古典への読書指導を可能にする授業「必修」			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 小学校国語教科書で記載されている国語的術語の説明ができる。	具体例を使ってわかるように説明できる。	術語の意味を間違いなく説明できる。	国語科の中での働きと関わりなく語としての意味が言える。	各術語の説明が適切にできない。	定期試験（知識・理解）	50%
(2) 小学校で取り上げられている楷書・行書が硬筆・毛筆などの様々な道具で書写できる。	それぞれの道具の特徴を生かした書写ができる。	トメ・ハネ・ハライ等を手本に沿って書くことができる。	筆の特徴や各字の運筆に関係なく手本通りに書ける。	毎時間の作品がきちんと提出できない。	提出作品（関心・意欲、思考力、判断力表現力）	30%
(3) 上代から近代までの文学史を時代背景と主たる作品で概観を語るができる。	各時代の時代的な特徴と作品との関係を語るができる。	各時代の特徴、代表的な文学作品の説明ができる。	各時代を代表する作品の概略や特徴の説明ができる。	時代の特徴への意識なく作品の説明をする	課題レポート（関心・意欲、思考力、判断力、表現力）	20%